

# 情報連絡員報告総括表(平成31年2月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		3	1		4		1	3			4			1	3		3	1	1	3			4			1	3						
	織 維 工 業		2	1		3		1	2			3			2	1		3			3			3		1	1	1						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2	1	1		1	1			1	1			2		2				2		2				2						
	印 刷	1				1		1				1			1			1		1				1		1								
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品		2	1		3			3			3			1	2		3			2	1		3			2	1						
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1		1			1				1		1				1		1				1						
	一 般 機 器		2	1		2	1		3			2	1		1	2		2	1		2	1		2	1	1	1	1						
	電 気 機 器		1			1			1			1			1			1			1			1				1						
	輸 送 機 器		1				1		1			1			1			1			1		1					1						
	そ の 他																																	
小 計		1	11	8	1	16	3	4	16			17	3		8	12		18	2	2	12	6	1	18	1	3	7	10						
非 製 造 業	卸 売 業	1		1	1		1		1	1		2		1		1		2		X				2			1	1						
	小 売 業	1		5	1	3	2	2	1	3		4	2		3	3		3	3					5	1		3	3						
	商 店 街		1			1			1			1			1			1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業	1	3	1	X			1	3	1	1	3	1		3	1		5						5			5			5				
	建 設 業	1	2	1					3	1		4			3	1		3	1					3	1		4			4			4	
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
小 計		4	8	8				2	4	3	3	11	6	1	16	3	2	12	6		16	4		19	1		16	4		16	4			
合 計		5	19	16				3	20	6	7	27	6	1	33	6	2	20	18		34	6	2	12	6	1	37	2	3	23	14			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年2月～平成31年2月)

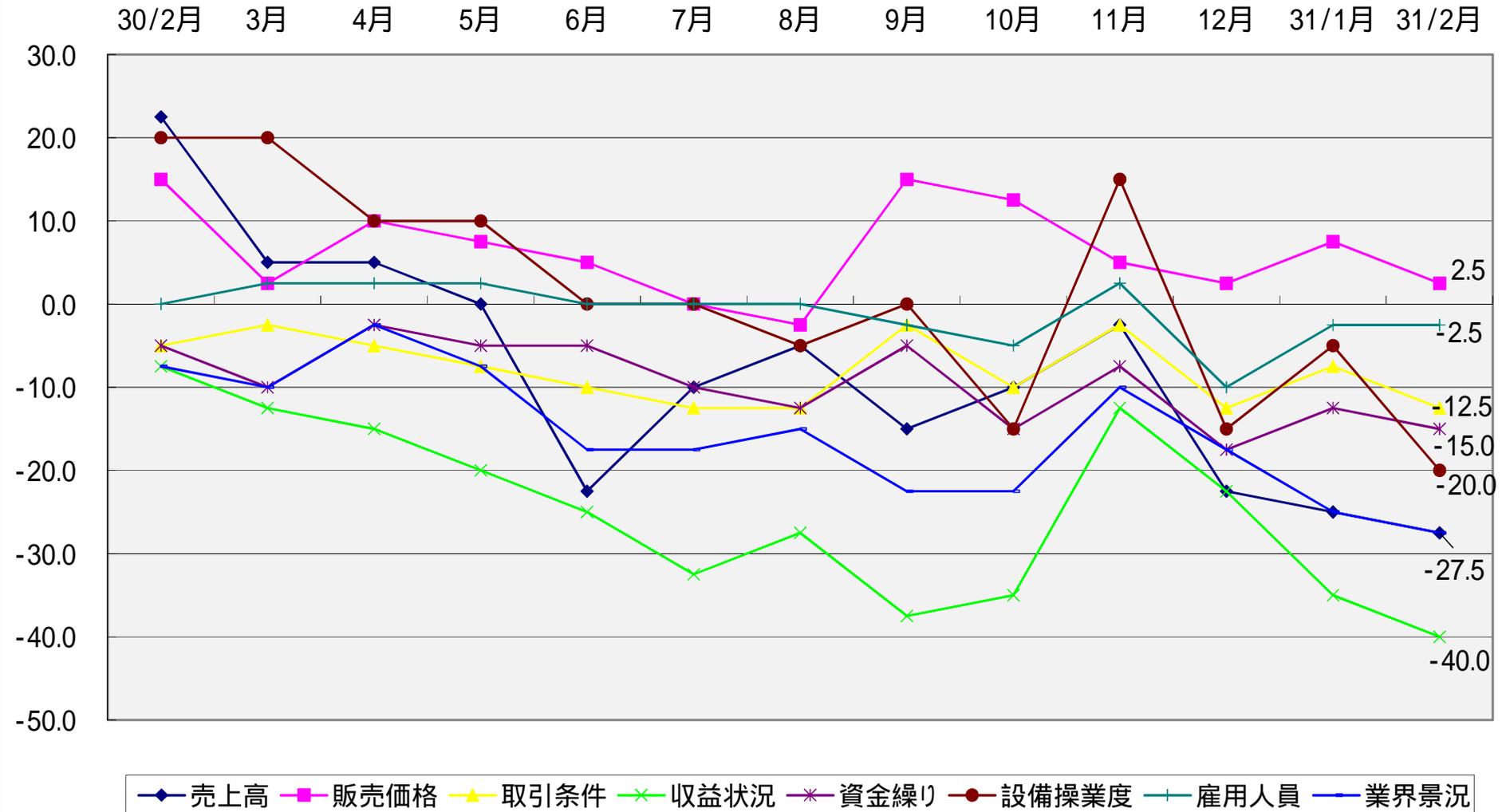
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31/1月	31/2月	増減
売上高	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-2.5
販売価格	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	12.5	5.0	2.5	7.5	2.5	-5.0
取引条件	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-5.0
収益状況	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-5.0
資金繰り	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-2.5
設備操業度	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-15.0
雇用人員	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成31年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。2月20日に名古屋市において全国漬物協同組合主催の評議委員会が開催され、漬物業界の今後について検討を行った。更に外国人技能実習生への対応として漬物製造管理者の2級以上の有資格者の育成が急務であり、例年2回の検定試験に加えて、今年3月10日に検定試験を実施する予定。また、4月27日に東京ビッグサイトにおいて、漬物グランプリ2019が開催される。
		醤油味噌	醤油全国第1社のシェアは益々増える一方で、傘下を含め、約54%。大手と中小・小規模事業者との差はまだ開く。当組合員もまた1人減り、37人となった。幸い加入希望者があり、来期は加入申込が承諾されれば、また38人となる見込みである。3月16日～20日にイオン沖縄ライカム店で、4月12日～14日にはイオン東員店とイオン津南店で「三重・しょうゆ街道」(イベント)を同時開催する。
		豆腐	栄養成分表示の義務化の猶予期間が2020年3月31日までで、同年4月1日から栄養成分表示が必須となるため、包材の表示の改定が必要であり、各社準備を進めている。
		製麺	麺業界にてうどんやラーメンのイベント行事が開催されている。その一つにうどんサミットがあり、今回9回目として埼玉県熊谷市で開催される。次回来年の開催を三重県で希望されており、たくさんの課題が山積みしているが、三重県の方々の協力があれば乗り越えられそうな気がする。今後のご協力をお願いしたい。
	繊維工業	テントシート	生地材料も段々と短期間で供給されるようになり、昨年の台風被害復旧も終わりになっている。人材(職人)の不足が感じられる。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	温暖な日が続き、冬用の食品関係も早い時期に調整になる。また海産物向けも海水温が高いため、生産量が大幅に減少。段ボールシートの値上げに伴う、段ボールケースの値上げも企業により進捗状況がまちまちである。
		古紙	2月期の古紙仕入量は、前年比で段ボール:約100±2%、新聞・チラシ:約92±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて:約96±5%の中で推移している。国内産の段ボール箱で宅配や各お店向けの流通量が増えているようで、多数の組合員が段ボール古紙の入荷がよいように思う。新聞・チラシは軽量化とページ減少・広告減少で重量が大きく減少している。雑誌・雑紙等も発行量の減少が大きいです。リサイクル意識の向上や会社や家の片づけなどの古紙の発生があるようで、集荷が多くなっている。中国の古紙の輸入制限により日本の古紙輸出価格が大きく値下がり中である。業者の在庫は増加している。古紙の輸出価格が下落しても古紙の持ち去り行為は今も残っている。古紙の集荷や出荷の為に運転士も不足している。
	印刷	印刷	例年通り年度末を迎え活気が出てきた。それに加えて選挙関係の需要もあって、官公庁等の厳しい競争価格は、ひとまず落ち着きつつある。しかしながら紙代の値上がりとともに再生紙等の紙不足が深刻な状況。
	窯業・土石製品	伊賀焼	今年は暖冬にもかかわらず、伊賀焼伝統産業会館、伊賀・信楽古陶館とも入館者数、売上とも昨年と比べ大きな変化はなかった。ガソリン価格が少し上昇しているのが影響していると思う。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は減少傾向にあるが、自動車部品関連は増加、産業機械関連は減少、半導体関連は前月同様低迷したままである。その他は増加、減少とさまざまであった。組合独自のアンケート調査によると、売上の増加があった企業が20%、横ばいが40%、減少が40%とあまり芳しくない状況といえる。利益面でも同じような傾向で、増加10%、横ばい140%、減少50%となった。その背景には経費の高騰があげられ、原材料、人件費等が利益を圧迫していると思われる。
一般機器	四日市	社員の採用シーズンが始まった。企業説明会に来る学生たちも売り市場の為、なかなか我々中小企業には目を向けてくれない。人材不足や人手不足で窮地に追い込まれることのないよう、各社各様の工夫で頑張っている。	
	伊勢	4月から全事業所において従業員の有給休暇(5日以上)の取得が義務付けられる。有給休暇自体、従業員の権利なので取得してもらうことは何ら問題はないが、義務化となると、管理面で負担となってしまう。大企業と違い、中小零細企業は人員的にも限られた人数でやっており、余裕もないので、4月以降は休日の管理や生産人員の確保の面で頭が痛い。	
電気機器	鳥羽	年度末も近づき、受発注量は落ち着きながら稼働し、状況は下がりつつある。	
輸送機器	鈴鹿	全体としては前月に引き続き大きな変動も無く、ほぼ前年並みで推移した。しかしながら、昨年春に立ち上がったばかりの中国向け部品のオーダーがゼロになってしまするなど、景気の見通しは良くない。	

報告者名  
報告年月

三重県中小企業団体中央会  
平成31年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	青果	野菜前半：気候が安定しているため生育が良く、全体的に順調に入荷した。春キャベツがお値打ちで、白菜・大根は例年の4割ほど安く、人参も安い。果菜類のトマト・キュウリも順調に入荷し、九州産のジャガイモの入荷も多く安値である。野菜後半：全体として生育が良く、入荷も順調。大根・白菜・人参は安値が続いている。ほうれん草・小松菜の価格は例年の1割安程。ジャガイモは在庫が多く、価格が下がっている。玉ねぎは北海道の不作でやや高い。果物前半：柑橘類のセトカ・デコポン・ポンカンなど種類と量が増えたが、みかんは入荷が減少した。莓は旬であるが入荷が少なく、高値。果物後半：莓の作柄が悪く、価格が上昇。ハルミの入荷が増えて美味である。
	自転車	例年通り2月は修理収入も少なく、通学用自転車の販売が少ない店は大変暇なようである。2月10日頃より一部商品の入荷待ちという状況も下旬にはなんとか落ち着いてきた。早期注文されたユーザーに関しては希望通り納品の準備は整っているが、今年の一部メーカーの商品に偏った注文が多くなり、中旬以降完売商品が多くなった。駆け込みで来られた客は商品(特にカラー)を選ぶことができず、在庫があるものに限られてくる。店によっては人気のなかった商品を抱えることになる状況である。
	石油	2月の燃料油販売数量の状況は前年比8%前後の減販状況であった。燃料油の中で灯油販売に期待していたが、暖冬の影響により販売数量が期待できなかった。収益面についてはOPEC等の減産の影響により、原油価格の上昇において各元売の値上げが中々浸透できない状況が続いた結果、厳しい状況であった。3月度の販売展開としてタイヤ・オイル・車検の販売キャンペーンの促進強化を図っていきたい。
	スポーツ	スキー、スノーボードから顧客の興味が薄れたのか、あれほど熱心にウィンタースポーツ(特にスキー)に熱い気持ちを注いでいた人達が7割ほどいなくなった。スポーツ用品の大型店はいずれもその名前の由来の通り(アルペン、ヒマラヤ等々)ウィンタースポーツが中心だったが、そのビジネスに陰りが出てきたようだ。我々にとって吉か凶か判断に苦慮するところである。
商店街	熊野市	毎月第4日曜日開催の朝市イベントは2月のこの時期は出店数は少なく、今後の課題でもあるが、その中で一昨年からの出店している熊野漁協の「鮮魚販売」と「海鮮丼」は好調のようである。特に海鮮丼は値段も安く、ボリュームがあり、評判も良くリピートされる客も多い。
サービス業	旅館	1月下旬から2月上旬にかけては中華圏の各国は春節休みで多くのインパウンド(訪日外国人旅行者)が来日している。三重県も少しずつであるが、増えていることが実感できるようになった。その後の3連休までは比較的好調であった。しかし下旬以降はいまひとつの集客であった。暖冬で雪による通行止めもなく、天候に恵まれたにも関わらず、全体では昨年並み位の業績であった。
	測量	年度末の公共事業まとめの時期でもあり、例年並みの仕事量となっている。
	警備	昨年と同様年度末を迎えて受注の多い年である。今年は警備料金の値上げを行ったので収益が多くなった。
建設業	内装工事業	例年通り年度末に向けて仕事量は増加傾向にあると思われるが、前年同月があまりにも数値が高く、対前年比で売上等減少となってしまった。
	水道工事業(四日市)	2月は特に大きな変化は見られなかった。ただ年度末に近づく2月ということで仕事量の多少の増加は見られた。またそれに伴い人手不足の状況は続いた。
運輸業	トラック	ドライバーの確保難、働き方改革の推進には荷主・荷受先の取引条件見直しが必要である。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	引き続きHACCP事業に対して情報の場を協力して欲しい。「ほっと通信」に記載していただき、県民に認知して頂き、感謝している。
繊維工業	テントシート	4月から施行される働き方改革が中小企業にとって重荷になってくるような気がする。
一般機器	四日市	外交に苦慮している日本政府。将来を考えると我が国は？我々中小企業は自助努力しかない。
一般機器	伊勢	大企業と中小零細とで法制や行政への新たな取り組み、対応に対して差を設け、猶予を与えていただきたい。
輸送機器	鈴鹿	ものづくり補助金の公募が始まったが、一部の工作機械メーカーは依然として大量のバックオーダーをかかえており、その繁忙の影響で11月に依頼した修理に未だに対応してもらえていない状況である。補助金・助成金の制度自体は活用できている企業にとってはありがたいことであろうが、悪影響を受けている零細企業も多くあることを行政には理解してもらいたい。
小売業	スポーツ用品	会計決算あるいは年度で締めるためなのか2月からの発注、入札が多い。ほとんど3月25日締め切りであるので、対応しきれないことが多いのが困る。中にはグラウンド工事や体育館の補修等、年度末までにできそうにないことを入札にかけてくるなど、学校事務の身勝手さが目立つ。
サービス業	旅館	「改正入管法」により、「特定産業分野」14業種に宿泊業も業界を揚げて要望した結果入った。しかし特定技能外国人が従事する業務としてフロント・企画広報・接客及びレストランサービスの提供に関わる業務とされており、調理業務は認められていない。調理は旅館にとって生命線でもあり、近年若者の人材不足による技能の継承もできないのが実情である。また、海外には和食を勉強したい若者が多くおり、その人達へ夢を与えるとともに和食の業界の発展を願っている。上記業務へ調理業務を入れて頂けるように要望する。
サービス業	測量	組合としての収益は悪化しているが、組合員は例年並みである。
サービス業	トラック	トラック運送の利用者に対し、取引環境改善の周知徹底を図って欲しい。